

## 1. 体制

### 1-1. CP2-4 エリートパラ

NO		担当	氏名	役割	無線	
1		CP2-4 チーフ	臼井 政和 / 神奈川	統括	○	
2		CP2-4 SC	青柳 雅一 / 神奈川	統括	○	
2	CP2		八下田 千恵子 / 神奈川	横断路		
3			原 仁 / 東京	横断路		
6	CP3		小原 博史 / 神奈川	横断路		
8			中橋 麻理 / 東京	横断路 (旗)		
9	CP4		高橋 朝之 / 岩手	横断路 (旗)		
12			穴田 有一 / 北海道	横断路 (旗)		

2024 警備計画 0423 エリート (P10~12) 参照

■その他 (※要最終確認)

CP2 : 整理員 12 名 警備員 3 名

CP3 : 整理員 6 名 警備員 2 名

CP4 : 整理員 7 名 警備員 3 名 ボランティア 2 名

### 1-2. CP2-4 エリート

NO		担当	氏名	役割	無線	
1		CP2-4 チーフ	臼井 政和 / 神奈川		○	
2		CP2-4 SC	青柳 雅一 / 神奈川		○	
3			八下田 千恵子 / 神奈川	旗		

2024 警備計画 0423 エリート (P13) 参照

■その他 (※要最終確認)

CP4 : 整理員 6 名 警備員 3 名

◆臼井政和 : 090-1889-9027

## 2. 業務詳細・留意事項

### 2-1. 共通事項

- 「(3) 大会提供資料 2024 警備計画 0423 エリート」(P10~13) で TO 配置状況を事前に確認する。
- 交通規制開始後、会場設営図に従って設営実施。設営業者がメインで実施するので、手伝いをする。
- 競技中のトラブルへの迅速な連携対応を行うためにも関係者（横断路警備員・整理員・設備・救護等）および前後のエリア TO へ、挨拶・自己紹介を行い、協調体制を確認する。
- コースの安全確認の上、危険と思われる箇所についてエリアチーフへ報告し修正する。
- コース上、ヘアピン・イアリング・クギその他パンクやスリップの原因となる落下物やごみの清掃をする。
- 接触・落車等による負傷者が発生した場合は、選手の競技継続の如何を問わず無線装着 TO を通じ本部・救護への情報連絡を行う。
- 競技終了後は翌日担当のエイジ TO ミーティングに向け移動する。

### 2-2. 横断路監視担当

- 担当の横断路警備員および整理員と横断方法（右側通行・左側通行にするかなど場所の特性を勘案する）の確認を行う。
- 競技者監視担当の黄旗から横断タイミングを判断し、横断路警備員・整理員へ指示する。

### 2-3. 旗振り担当（競技者接近監視）

- 競技中の観客状況を想定した「黄旗」の視認性の確認、前後の監視担当と立ち位置等の調整を行う。
- 前の監視担当の白旗掲揚を確認後、後続の監視担当へ適切なタイミングで黄旗を掲揚し、一団全体が通過後に降旗する。
- 前方にて落車等のアクシデントが発生した場合は、赤旗を左右に振り 選手への注意喚起を行う。（チーフ、サブチーフ）

### 2-4. 監視

- 関係者、観客がコース内に立ち入らないように監視し、横断希望者へは横断路を案内する。

### 2-5. リタイア選手への対応

- DNF 選手のレースナンバー、DNF した時刻、DNF の状況等を確認し、アンクルバンドを預かる。
- 各ポジションのチーフ TO がアンクルバンドを一時保管し、各競技の終了後に KnTU 本部へ持参する。
- DNF 選手の情報を KnTU 本部へ連絡する

## 2-6. CP2-4 業務詳細/留意点

### ■ 主な業務

- ① コース設営図に基づき、備品置き場の備品を確認 → 交通規制開始 6:30 コース設営を行う。
- ② 観客誘導、横断路監視、コース内の安全確保。
- ③ 山下公園内の導線を事前に確認しておくこと。
- ④ バイク・RUN・PTWC のラップタイムシュミレーションを確認しておくこと。
- ⑤ 競技終了後、備品を備品置き場に戻す。

### ■ 留意点

#### ● CP2

- ① エリートパラのバイク・PTWC の折り返し地点を担当 NTO と事前確認する。
- ② 横断路は競技に影響が出ないように、無理に開くことはしない。
- ③ 横断路に関するクレームが出た場合は、CP2-4 チーフに連絡し、チーフが対応。
- ④ 各カテゴリーのトップおよび最終選手を無線アナウンスする。
- ⑤ パラ終了後、撤収。備品置き場に備品に戻す。

### ■ 留意点

#### ● CP3

- ① PTWC 通過注意。
- ② 横断路は競技に影響が出ないように、無理に開くことはしない。
- ③ 横断路に関するクレームが出た場合は、CP2-4 チーフに連絡し、チーフが対応。
- ④ パラ終了後、撤収。備品置き場に備品に戻す。

### ■ 留意点

#### ● CP4

- ① PTWC 通過注意。
- ② 山下公園側の通路が狭いので導線確保、誘導注意。
- ③ 観光客、関係者、台車等横断が多いので、無理のないように。
- ④ 横断路は競技に影響が出ないように、無理に開くことはしない。
- ⑤ 横断路に関するクレームが出た場合は、CP2-4 チーフに連絡し、チーフが対応。
- ⑥ パラ終了後、転換。横断路はなくなるが、観客誘導と旗揚げ業務にあたる。NHK カメラ注意。

## 2-7. その他

- 昼食は全ての業務終了後に、「山下公園内 KnTU テント」にて。

### 3 参考：パラトライアスロン競技クラス

パラ 競技クラス	競技クラス内容	バイク	ラン
PTWC	車いす利用者。選手はバイクコースではリカンベントタイプのハンドサイクルを、ランパートでは競技用車いすの利用が義務付けられる。		
PTS2	かなり重度の障がいのある選手。バイクパートおよびランパートでは、肢切断選手に対して承認済みの義肢やその他の装具の使用を許可する。		
PTS3	重度の障がいのある選手。バイクパートおよびランパートでは、選手に対して承認済みの義肢やその他の装具の使用を許可する。		
PTS4	中度の障がいのある選手。バイクパートおよびランパートでは、選手に対して承認済みの義肢やその他の装具の使用を許可する。		
PTS5	軽度の障がいのある選手。バイクパートおよびランパートでは、承認済みの義肢やその他の装具の使用を許可する。		
PTVI	完全あるいは部分的な視覚障がい (IBSA/IPC の B1、B2、B3 クラス相当)。どちらの目も、ともに光の知覚がまったくできない状態から光をある程度知覚できる(B1)選手、部分的に見ることができる(B2 と B3)選手を含む。ガイド 1 名がレース全体を通じて伴走しなければならない。バイクパートではタンデムバイクを使用しなければならない。		